

小屋組

08032

接合金物の施工不良

年度 1994 年完成 (2009 年調査)
場所 東京都
構造 木造在来軸組工法
階数 2 階
延べ面積 146 m²
用途 一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

羽子板ボルト(写真 1)・火打金物(写真 2)が適切な接合方法で緊結されていない。施行令第 47 条 1 項に違反している。

写真 1



写真 2



解説

写真 1 の羽子板ボルトは六角ボルトで接合し、写真 2 の火打金物はスクリューボルトかコーチボルト等で接合する仕様になっているが、本件では釘だけの接合であった。

施行令第 47 条 1 項では、「構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締め、かすがい打、込み栓打その他の構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。」とあり、これに違反している。また、施行令第 1 条三号において、梁、及び火打材は、構造耐力上主要な部分として定められている。